

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年08月29日

計画の名称	陸前高田市における安全・安心・快適な生活環境を支える道づくり（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	陸前高田市													
計画の目標	陸前高田市民が安全に安心して快適に通行できる道路整備と市道構造物の修繕を行う													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,879	A	1,879	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		52	52	53
1	市道舗装率を当初舗装済道路延長（m）/R1当初道路台帳総延長（m）%を基準に5年間で 52% から 53% に増加			
	〔 R1当初舗装率〕 R1当初舗装済道路延長（m）/R1当初道路台帳総延長（m）% = 304,909m/582,880m = 52.0%	52%	52%	53%
2	市道改良率を当初改良済道路延長（m）/R1当初道路台帳総延長（m）%を基準に5年間で 48% から 54% に増加			
	〔 R1当初改良率〕 R1当初改良済道路延長（m）/R1当初道路台帳総延長（m）% = 277,475m/582,880m = 48.0%	48%	51%	54%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	市町村 道	修繕	市道柳沢 1 号線ほか	舗装新設	陸前高田市	■	■	■	■	■	100		策定済
	A01-002	道路	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	市町村 道	修繕	市道相川新田線ほか	側溝新設	陸前高田市	■	■	■	■	■	200		策定済
	A01-003	道路	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	市町村 道	修繕	市道嶋部線ほか	舗装補修	陸前高田市	■	■	■	■	■	150		策定済
	A01-004	道路	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	市町村 道	点検調 査	路面性状調査事業	路面性状調査	陸前高田市	■	■	■	■	■	30		策定済
	A01-005	道路	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	市町村 道	改築	市道今泉下矢作線	歩道整備	陸前高田市	■	■	■	■	■	200		策定済
	A01-006	道路	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	市町村 道	改築	市道詔石線	現道拡幅	陸前高田市	■	■				564		策定済

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	市町村 道	修繕	市道玉山線	法面对策	陸前高田市				■	■	185		策定済
	A01-008	道路	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	市町村 道	修繕	市道馬越線	法面对策	陸前高田市				■	■	150		策定済
	A01-009	道路	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	市町村 道	修繕	市道古谷海岸線	法面对策	陸前高田市				■	■	180		策定済
	A01-010	道路	一般	陸前高田 市	直接	陸前高田市	市町村 道	修繕	市道大陽小友浦線	法面对策	陸前高田市				■	■	120		策定済
											小計						1,879		
											合計						1,879		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

本事業を主管し、市道の整備及び維持管理の所管課である建設課で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証するとともに、その要因を分析した。

令和7年8月

公表の方法

陸前高田市ホームページにより公開

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 市道に係る舗装補修・新設の事業により、車両の走行環境が向上した。
- ・ 市道に係る側溝整備等の事業により、車両及び歩行者の安全性と快適性が向上した。
- ・ 法面整備などの事前防災対策により、地域環境等の安全性が向上した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	市道舗装率		
	最 終 目標値	53%	震災復興事業など他事業により実績値が目標値よりも増加しているもの
	最 終 実績値	58%	
2	市道改良率		
	最 終 目標値	54%	
	最 終 実績値	54%	